

広島市議会議員安佐北区選挙区補欠選挙選挙公報

○若者に政治を取り戻す○

【3つの公約】①静かな選挙運動を行います。②選挙期間中は毎日情報発信を行います。③新しい形の選挙戦を展開します。

・選挙カーは使いません。拡声器を使った街頭演説も行きません。YouTube「きよちゃんねる」で声を届けます。個人演説会を開催します。選挙期間中に若手発掘プロジェクト「デザインコンテスト」を開催。選挙用ポスターを使って行います。選挙の公費負担を10万円以下に抑えます。最後まで一人で戦います。
★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

【3つの目標】※公約ではありません。

①政治を若い人に取り戻す。議員数を54人→11人に。②広島を世界に誇る300万人国際平和都市にする。③広島を発展を目指す。広島を日本の首都にする。
その他の目標(1)ジェンダーフリーの街づくり。(2)県外からの若者が無料で滞在できるゲストハウス設置(3)西日本豪雨で被災した地域を以前あったものより良いものに作り直す。(芸術性を加味する)(4)路面電車を廃止し、地下鉄環状線を整備。(5)高額納税者に感謝状。(6)広島市内在住の20代若者に対し、パスポート費用及び1回目の海外渡航を全額公費負担。(7)広島市内在住の学生に対して、有利子無担保で大学卒業までの学費を融資。(8)婚姻制度を根本から見直し。(一夫多妻、一妻多夫、同性婚、契約期間付き婚姻等)(9)年金制度を根本的に見直し。(消費した金額の10%を自分自身の将来の貯金として強制徴収。65歳以降引き落とし可)(10)教育委員会を廃止。公教育のやり方をゼロベースで見直し。自由競争社会に対応できる強く優しい人材の育成。リーダー教育。中学より職業訓練コース、進学コース、一般コースの選択。(11)公費優遇を受ける若者に対して半年間の公に対するボランティア活動を義務化。(12)選挙権の自主返納制度。(13)議員のステータスを公開(14)広島市中心部にコンドミニアム建設(15)ディズニーランドもしくはUSJの誘致(16)税の不公平感の解消(17)IDカード所持の義務化(18)平和大通りの歩行者天国(19)供託金制度の見直し。※一部抜粋。詳細はYouTubeで。



おおた きよし
大田 清

三宅あきみの決意

生まれ育った町に対する思いには特別なものがあります。安佐北区を、より安全で住みよい街にするために、行動力を持って「誠心誠意」働いてまいります。これまでの「しがらみ」を断ち切り、「政治」への信頼を取り戻し、次世代への架け橋となるべく全力で頑張ります。

安佐北区を元気に!!

- 「孤独」を防ぎ地域で育てる人づくり
- 「人生100年時代」に求められる環境整備
- 「街づくり」
- 高齢化に伴う「生活の足」の確保
- 増加する自然災害への「防災・減災」対策
- 「襟を正して」
- 行動力を持って信頼に応え、次世代が希望を有する政治を目指します。

プロフィール
昭和40年 広島市安佐北区出身
井原小学校/白木中学校/広島県高陽高等学校/國學院大学文学部卒業
【現在】
㈱ロジック (保険代理店) 代表取締役
国際医療連携協同組合 理事長
【所属団体・主な活動】
・(一社) 広島青年会議所特別会員
・広島中央ロータリークラブ 幹事
・広島経済同友会 幹事
・広島大出陣プロジェクト事務局長
・(一社) Click理事長
・宮島てらこや 事務局長



三宅 あきみち



山下 まさひろ
無所属
45歳

今こそ変わるとき

よく考えてほしいのです、そもそも地方議員は地域住民の代表であり、決して上に立つ存在でも、先生でもない。地域で一緒に暮らし自分達の意見や提案でより住みやすい街にする。議員はそのための地域代表プレゼンターにすぎない。安佐北区の街づくりの主役は区民の皆さんであり僕も区民です。一緒に作らせて頂けませんか日本一素晴らしい街、安佐北区を。今回は「街づくり」や「変わるため」に重要な選挙であり、区民の皆さんの意見を聞きたいとされている選挙でもあります。●自分の意見ではなく集団の決定事項に従って投票するの。●投票に行かず、悪しき事や無駄な事を許す(黙認する)のか。●投票に行き、一緒に街づくりをしたい候補者を選ぶのか。●白紙で投票して、適任候補者がいない意思を示すのか。●政治を変える第一歩は皆さんの一票にかかっています。

【全力で早急に取り組みたいこと】
PTA、消防団、防災士、ソフトボール、よさこい、ビジネス交流の知識や経験を活かして
●子ども向けに実践的なビジネス教育体制を構築
●災害に強い街づくり、災害時に死者を出さない、地域連携の仕組づくり

市政に挑み続けて15年。今度こそ!

2007年に議員に挑戦して以来、バッチはなくても生活相談に一つひとつ応え、相次ぐ土砂災害では、ただちに現場にかけつけて要望を聞き、市議、県議、国会議員とも連絡をとって解決の力を尽くしてきました。今度こそ議会で働かせてください。

清水てい子のお約束

- 子どもの医療費を中学3年生まで無料に
- 学校給食は自校調理方式を推進・継続させ、無料に
- 高齢者の補聴器購入の補助制度を
- 小規模修繕登録事業を拡充
- 土砂災害の危険箇所を早く解消する
- 市民病院の跡地利用に区民の声を
- 「黒い雨」の被害者全員に全額手帳を
- ロシアのウクライナ侵略
- 核使用発言に抗議します
- 憲法9条を守り、核兵器禁止条約への参加を求めます
- 日本共産党は企業・団体献金も政助成金も受け取らず、「住民が主人公」を貫く政党です

プロフィール 1947年生まれ。広島商科大学(現広島修道大学)卒。生協ひろしまに25年勤務。現在、広島医療生活協同組合理事、党県委員。趣味は絵手紙、読書。可部東3丁目在住。



日本共産党
清水
てい子



まさき
無所属
正木あつし

政治がよくならないかぎり世の中はよくならない。

政治家は姿勢が大切だ。わたしが一貫して言い続けてきたこと。世の中を動かしているものは何か。それは政治です。政治は、わたしたちの生活すべてにかかっています。世の中で、政治に関わらないものは何一つとしてありません。政治はそれほど身近なものです。しかし残念なことに、なるべく政治にかかわらないようにしている人が多いようです。その結果が投票率の低下であり、特定の限られた人たちの政治の独占になっています。それが政治の質を悪くしています。そして、そのツケは、わたしたちの生活にまわってきています。今回の安佐北区補欠選挙もそうです。河井夫婦による未曽有の大規模買収事件。一言でいえば、なれあい政治が起るべく起きた事件です。なれあいは不正の温床です。政治が世の中を動かしています。政治は、政治家が動かしています。政治家一人一人の資質や姿勢が問われるのは当然です。わたしは約束します。
一、なれあい政治はしません。
一、金銭の不正はやりません。
一、みなさんの声を聴きます。
一、みなさんの生活を守るための全力を尽くします。
生活と暮らしの安心を守るための全力を尽くします。
人は失敗もし過ちも犯しますが、過去は変えられません。しかし、前へ、未来へ進む方向は変えることができます。過ちは二度と繰り返しません。と、姿勢を大切に今日まで九年、三千二百八十五日、一日も休まない挨拶を繰り返してきました。この姿勢で政治に取り組む覚悟を行動で示してきました。

私がめざす安佐北区
食を通して、みんなで仲良く暮らすことのできる楽しい地域

私がめざす安佐北区
食を通して、みんなで仲良く暮らすことのできる楽しい地域

- ✓ 高齢者も若者も、みんなが交流できる場を作り、地域を元気にします。
- ✓ 広島市にフードバンクの設置を促し、多くの市民が活用出来るようにします。
- ✓ 学校給食の保護者負担を0にし、子育て世代の負担を軽くします。
- ✓ 学校給食と地域の生産者の連携を強化し、安心安全な学校給食と安佐北区の農業の推進を図ります。
- ✓ 腐敗した政治を防ぐため、市民に分かりやすく市政を語る場をたびたび設けます。

フードバンク 代表 あいあいねっと
食と栄養のプロ
https://haradayoshiko.net
安佐北区 原田よしこ 検索

原田よしこ プロフィール

【学歴】
■1974年 熊本県立熊本女子大学食物学卒業
■2012年 広島大学社会科学部研究科マネジメント博士前期課程修了

【職歴】
■2001年 医療法人社団恵正会二宮内科薬部門 入職 現NSTアドバイザー
■2002年 がん患者の会「とまれ」運営委員
■2014年 美作大学生物学部食物学教授就任 現在に至る
■2017年 社会福祉法人正仁会フードバンク事業 あいあいねっと入職 代表就任



無所属
はらだ
原田よしこ

広島市議会議員安佐北区選挙区補欠選挙



4月24日(日)は、
広島市議会議員安佐北区選挙区補欠選挙の
投票日です。

投票時間 午前7時から午後8時まで
期日前投票
○ 4月23日(土)まで
午前8時30分から午後8時まで(土曜日も投票できます。)
○ 投票場所
安佐北区役所、白木出張所、高陽出張所、安佐出張所
※エールエールA館エントランスプラザ(エールエールA館地下2階入口横)でも、4月21日(木)～4月23日(土)の午前10時～午後8時に、期日前投票ができます。
○ 「選挙のお知らせ」裏面の期日前投票宣誓書欄に記入して、持参してください。「選挙のお知らせ」をなくした場合や持参していない場合は、期日前投票所に備付の【期日前投票宣誓書】に記入していただきます。

投票日
4月24日(日)

広島市選挙管理委員会

この選挙公報は、広島市議会議員の選挙における選挙公報の発行に関する条例の規定により、候補者7名のうち掲載申請があった6名から提出された原稿を原文のまま印刷したものです。